

令和6年1月25日配信



SPORTS  
FUTURE  
CENTER  
URESHINO

## シン・嬉野 #3 アスリートと語るまちづくりの未来 「子育て」でつなげる笑顔の輪

嬉野市は持続可能なまち「シン・嬉野」に向け、北欧式対話モデル「フューチャーセンター」に「スポーツ」の持つ「つなぐ」力を掛け合わせた世界初の取り組み「スポーツフューチャーセンター」を推進しています。第3回目のテーマは、「子育て」です。子どもたちの居場所がたくさんあり、のびのびと過ごせる「もっと子育てしやすい嬉野」を作っていくために、嬉野市子どもセンターの職員や市民にアスリートを交えて対話します。

### スポーツフューチャーセンターうれしの第3回セッションー子育てー

日時 : 2024年**2月19日** (月) 13:15~

場所 : 嬉野温泉駅前 観光交流施設「まるくアイス」

問 : 「宿泊型ケア事業、駄菓子屋、預かり事業など、民間ができる子どもたちの居場所づくりとは？」

#### <第2回インスピレーショントーカー>

##### アスリート



大山 加奈 さん

小2でバレーボールを始め、小中高全ての年代で全国制覇を経験。高校時代から日本代表に選出され主要な国際大会でも活躍。2010年に現役を引退し、2021年に不妊治療を経て双子の女の子を出産。現在は全国での講演活動やバレーボール教室など多方面で活躍。

##### 嬉野市子どもセンターリュッケ



長尾 千夏 さん

佐賀県放課後児童クラブ連絡会所属。嬉野市子どもセンターリュッケにおいて、子育て中の多くの家庭の悩みに向き合っている。

#### 第3回セッションの流れ (予定)

- ①【導入】  
目的の確認 13:15~
- ②【共有】  
アスリートや嬉野市の子育て事例 13:20~
- ③【発散】  
班に分かれてアイデア出し 14:00~
- ④【発表】  
提案とまとめ 16:15



SPORTS  
FUTURE  
CENTER  
URESHINO

## フューチャーセンターとは

スウェーデン発祥で世界はもとより日本でも広がりを見せている取り組みで、異なった組織や立場の人々はその組織や立場を離れ、自由に関係性を形成し、未来志向で創造的な対話をおこなう「場」のことを言う。「フューチャーセンター」が「場」をあらわすのに対し、対話の過程及びその内容は「フューチャーセッション」と呼ぶ。スポーツの力を掛け合わせる「スポーツフューチャーセンター」は世界初の取り組み。

## なぜ「子育て」？

少子化が加速している今、子育ては、もはや子供のいる家庭だけの問題ではなく、広く市民みんな理解し協力していかなければならない時代となっています。

子育ての環境や常識も10年、20年と時を経るにしたがって新しいものへと変わっており、市民みんな子育て知識をアップデートしていく必要があります。

今を生きる子育て世代が抱える悩みや希望を共有し、オール嬉野で子育てしやすい環境を実現し、さらに子育てしやすい街を目指したいと嬉野市は考えています。

## “子育て中のアスリート”は、嬉野をどうみる？

今回は、子育て中のアスリートに嬉野へお越しいただき、子育て世代の悩みや希望をよく知るこどもセンターの職員と対話の場をつくります。最後はお越しの皆さんも交えてフューチャーセッションを行い、多様な立場の市民同士での子育て環境向上に向けた共創をサポートしてもらう予定です。

## ・市民のあなたも参加してみませんか？

定員 20名

申し込み方法 二次元コード読み取り後の申し込みフォームから受付  
(応募多数の場合は抽選)

申し込み期限 2024年2月16日(金) 12:00まで

※参加の可否については、お申込みいただいたメールアドレス宛に連絡させていただきます。

## こんな方におすすめ！

- ・子育て中や子育てに関心のある方
- ・嬉野の未来について語ってみたい方

## ・メディア関係者へ

当日は、アスリートと市民入り混じった対話の場面を撮影いただけます。

取材のお申し込みは右記コードよりお願いいたします。当日申請も可能ですが、人数把握のため、事前のご登録をお願いできますと幸いです。

また、登壇者への個別取材もご相談可能となっております(当日変更となる可能性がございます。あらかじめご了承ください。)

取材申し込み締め切り：2月16日(金) 18:00まで



<お問い合わせ>  
嬉野市役所 広報・広聴課  
担当 山口  
TEL 0954-66-9115